

学校だより No.6 10月発行

埼玉県立所沢特別支援学校

〒359-0003 所沢市中富南 1-1802-7

TEL : 04-2994-8733

FAX : 04-2991-1005

HP : <http://www.tokorozawa-sh.spec.ed.jp>

しょう こうない しゅくはく がくしゅう

## 小3校内宿泊学習



9月13日(木)、14日(金)に小学部3年生が校内宿泊学習を行いました。スクールバスを見送ると初めての宿泊に緊張している様子も見られましたが、オザムへ元気よく夕食の材料とおやつを買いに行きました。夕食はみんなが大好きなカレーライス。野菜の皮をむいたり、小さく切ったりと自分たちで作って食べました。お風呂に入った後は、お待ちかねの花火大会。手持ち花火や吹き出し花火を楽しみました。2



日目は朝のトレーニングからスタート。みんなで音楽に合わせて歌ったり、踊ったりして体を動かしたあとは、朝ご飯。みんなおなかいっぱい食べました。家庭を離れ、友だちや教員と一緒に泊まることを経験し、大きな成長が見られました。

しょう こうない しゅくはく がくしゅう

## 小4校内宿泊学習

9月27日(木)、28日(金)の二日間で小学部4年生が校内宿泊学習を行いました。今年度から実施の行事ですが、昨年3年生で一度、校内宿泊を経験しているので、どの子も落ち着いて活動できました。初日の午前中はお弁当を作りました。一人ずつ弁当箱におかずを詰め、おにぎりを握って完成。できあがったお弁当をみんなで食べました。午後は体育館でミニ運動会。2チームに別れバラスボールリレーやフラフープくぐりなどで対戦し、たくさん運動しました。



みおく あと ゆうしょくづく さけ  
 スクールバスを見送った後は、夕食作り。メインディッシュは「鮭  
 のチャンチャン焼き」ホットプレートで鮭の切り身を並べ、野菜や  
 やさい  
 きんぎょ  
 キノコをのせて味噌で味付けしました。どの子も残さずおいしく食  
 た  
 べました。夕食後はお風呂に入り、自分で敷いた布団でゆっくり  
 ゆっくり  
 しゅうしん  
 就寝しました。二日目は朝食を食べ、午前中は金曜日の日課で  
 ふつかめ ちょうしょく た ごぜんちゅう きんようび にっか  
 がくしゅう ごご じゆぎょう しゃしん み がえ いっぱくふつか  
 学習し、午後の授業で写真を見ながら振り返りをして一泊二日の  
 なが なが しゆくはくがくしゅう しゅうりょう ねんせい こうがいしゆくはく む  
 長い長い宿泊学習が終了しました。5年生での校外宿泊に向け、  
 せいかつ しゅうだんせいかつ けいけん つ ふつかかん  
 生活スキルや集団生活の経験を積むことができた二日間となりま  
 した。



## ちゅう しゅう がく りよ こう 中3修学旅行

がつ にち もく にち きん いっぱくふつか ちゅうがくぶ ねんせい  
 9月27日(木)、28日(金)の一泊二日で中学部3年生  
 ふじさんほうめん しゅうがくりょこう い おおた たいふう おきなわ  
 が富士山方面へ修学旅行に行きました。大型の台風が沖縄  
 ふきん えいきょう ふじさん ごうめ どうちやく あめ  
 付近にあった影響もあり、富士山5合目に到着すると雨、  
 かぜ つよ きおん ひ こ よてい  
 風が強くなり気温もかなり冷え込んでいました。予定してい  
 たコースを全て散策することはできませんでしたが、クラ  
 すごとにお店に入っておみやげを見たり、付近を散策した  
 りしました。昼食は山梨名物のほうとう。冷えた体に温  
 ちゅうしょく やまなしめいぶつ ひ からだ あたた  
 かいほうとうは最高の御馳走になりました。昼食後は紅葉  
 さいこう ごちそう ちゅうしょくご もみじ



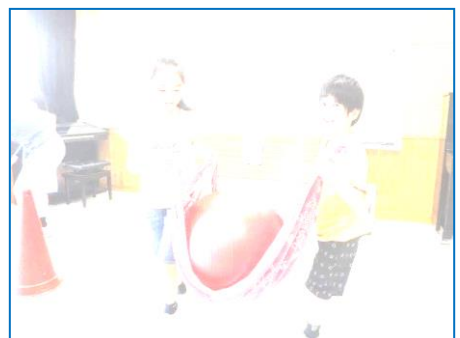
だいきそう まぼくじょう じぜんがくしゅう もくば  
 台木曾馬牧場へ。事前学習で木馬  
 つか れんしゅう せいか はつき  
 を使って練習した成果を発揮し



きそうまの 乗ることができました。2日目、天気は快晴。ホテル  
 にちめ てんき かいせい  
 め まえ ひろ たぬきこ さんさく ゆうだい けしき たの あと  
 の目の前に広がる田貫湖を散策して雄大な景色を楽しんだ後、  
 ふじ まど かなあみば  
 富士サファリパークに行きました。窓ガラスのない金網張りのジ  
 ヤングルバスに乗って間近でいろいろな動物を見たり、ふれあい  
 の まぢか どうぶつ み  
 コーナーでモルモットを膝に乗せ頭をなでたり、抱っこしたりと  
 ひざ の あたま だ  
 どうぶつ じか かん きちょうな たいけん  
 動物を直に感じる貴重な体験をすることができました。

## しょう こう こう りゅう かい 小高交流会

がつ にち か しょうがくぶこうがくねん とこなざわり つしんえいしょうがっこう  
 9月18日(火)、小学部高学年が所沢市立伸栄小学校の



5年生と交流会を行いました。交流会第1部は7グループに分かれ、それぞれのグループで自己紹介や玉入れ、ビンゴゲームなどをしました。始めは少し緊張している様子が見られましたが、ゲームなどで一緒に体を動かすと、だんだんと距離や気持ちが近くなりました。第2部は体育館での全体交流。お互いの学校の発表では、本校からは「パラバルーン」を音楽に合わせて元気よく発表し、伸栄小学校からは、「ジンギスカン」のダンスを発表してくれました。最後の全体ダンスでは、全員で大きな円になって「オブラディ・オブラダ」を踊り、心も体も一つになって交流を深めることができました。



ちゅうごくがっこうきゅうしょくかんけいしゃしさつだん らいこう

## 中国学校給食関係者視察団の来校

9月19日（水）、中華人民共和国（以下「中国」）より北京大学、大連大学をはじめ、北京市の保健所や成都市の病院の職員の方など、給食の関係者が本校に来校し給食の様子を視察しました。中国では都市部は比較的豊かな給食が実施されているが、農村部は貧しく、児童生徒に対する栄養補給が喫緊の課題となっており、日本の学校給食の現状や運営を視察し、情報収集を行うことが目的です。本校からは「特別支援教育と本校の概要説明」、



「学校給食についての説明」。  
衛生管理用の防護服に着替えての厨房見学。そして給食の

試食を行いました。午前10時から午後1時過ぎまでの限られた時間でしたが、視察団からの感想では、栄養面だけでなく児童生徒に対する思いや配慮、丁寧な給食提供の姿勢、さらに安全、衛生に対する徹底したチェック体制などのきめ細かい運営の様子を間近に見ることができ、大変参考になったとの言葉をいただきました。

# 11月は「いじめ撲滅強調月間」です

埼玉県は、11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめの根絶に集中的に取り組んでいきます。

いじめに遭ったり、気が付いたりしたら、一人で悩まず御相談ください。

## 電話相談窓口

○ よい子の電話教育相談（24時間365日対応）

18歳以下の子供専用（無料）#7300

または 0120-86-3192

保護者専用 048-556-0874

Eメール相談 [soudan@spec.ed.jp](mailto:soudan@spec.ed.jp)

いじめメール相談フォーム（右のコードから入れます）



埼玉県のマスコット「コバトン」

○ ヤングテレホンコーナー（埼玉県警察少年サポートセンター）

（月～土／祝日・年末年始を除く8時30分から17時15分）

048-861-1152

○ 子どもスマイルネット（毎日／祝日・年末年始を除く 10時30分～18時）

048-822-7007

○ 埼玉いのちの電話（24時間365日対応）

048-645-4343

○ さいたまチャイルドライン（毎日／年末年始を除く 16時～21時）

18歳以下の子ども専用（無料）0120-99-7777

○ 埼玉県こころの電話〔精神保健やこころの悩みに関する相談〕

（平日／土・日・祝日・年末年始を除く 9時～17時）

048-723-1447

○ 子どもの人権110番 ※さいたま地方法務局人権擁護課所管（月～金／祝日・年末年始を除く

8時30分～17時15分）

0120-007-110

## お問い合わせ

埼玉県県民生活部青少年課

TEL048-830-5858



とくべつし えんきょういく み に こうざ  
**特別支援教育ミニ講座**  
 だい 5 かい  
**第5回**



こべつ きょういくし えんけいかく  
**<個別の教育支援計画とは>**

個別の教育支援計画は、埼玉県では「教育支援プランA」とも呼ばれています。そして特別支援学校に学ぶ子どもたち全員について作り、使うことが特別支援学校の学習指導要領で決められています。

それではなぜ、個別の教育支援計画を作るのでしょうか。それは学校での子どもたちへの支援を、学校だけでなく家庭や放課後等デイサービスなどの児童福祉、医療、就労支援などの関係機関と一緒に、数年間にわたる長い期間（埼玉県の「教育支援プランA」は3年間）を視野に入れて行うためです。

つまり個別の教育支援計画は家庭、学校、福祉などの関係機関が連携して一緒に支援を行うための「連携のツール」なのです。連携の輪の中で、学校では何をするのかを1年間程度までの期間で示したものが個別の指導計画で、埼玉県ではこれを「教育支援プランB」と呼んでいます。

個別の教育支援計画は、家庭と学校が一緒に作ります。したがって、次に示す作成のポイントは、保護者の皆さまにも御理解していただきたい部分です。

- ・ 「特別な教育的ニーズ」、「本人・保護者の願い」、「合理的配慮の実施内容」については、学校だけでなく家庭や放課後等デイサービスなどの他の関係機関の関係者が理解でき、実施できる内容を、関係者全員が読んでわかるように書きます。
- ・ 「教育機関の支援」については、3年間といった長い期間で学校ではどんなことをするのかを書きます。書いた内容が、「特別な教育的ニーズ」、「本人・保護者の願い」、「合理的配慮の実施内容」、さらに「関係機関の支援」と食い違ったものになっていないかを確認します。
- ・ 「関係機関の支援」については、本人が利用する放課後等デイサービスなどの支援計画、特に前回、紹介したサービス等利用計画（障害児支援利用計画）の内容と合ったものにします。
- ・ サービス等利用計画を作っている相談支援事業所はどこか、どのような福祉サービスを利用しているかなど、最新の情報がみられるように個別の教育支援計画の内容を更新します。
- ・ 個別の教育支援計画は連携のためのツールなので、これを使う場合には多くの機関が関係することがあります。その時には、個人情報保護には十分に気をつけるようにしてください。また他機関に個別の教育支援計画のコピーを渡すのは、保護者を通じてです。学校側がこれを行う場合には、保護者の同意が必要です。個人情報の管理の中心は、保護者・本人であることを忘れないでください。

小学校と中学校の新しい学習指導要領では、特別支援学級で学ぶ子どもたちと通級指導教室を使う子どもたちについても、個別の教育支援計画と個別の指導計画を作ることになりました。特別支援学校は、小・中学校に対して、これらの計画の作成・活用モデルを示す役割が与えられているといえるでしょう。

なお、次頁に示したものが、埼玉県の個別の教育支援計画「教育支援プランA」の書式です。

## 教育支援プランA（個別の教育支援計画）

ふりがな		性別	生年月日	<b>取扱注意</b>
本人氏名				
ふりがな		住所		
保護者氏名		TEL		
対象期間	平成 年 月 日（ ）から平成 年 月 日（ ）まで3年間			
作成年度	学校名	校長名	学部・学年・組	記入者名
1				
2				
3				
特別な教育的 ニーズ				
（追加）				
本人・保護者の 願い				
合理的配慮の 実施内容				
（追加）				
教育機関の 支援		目標・機関名	支援内容	評価
	所属校			
	（追加）			
	就学支援委員会の 助言内容			
	（追加）			
	支援籍、交流及 び共同学習			
（追加）				
関係機関の 支援		機 関 名	支 援 内 容	
	医療・保健			
	（追加）			
	福祉・労働			
	（追加）			
	家庭・地域			
（追加）				
本人の プロフィール	障害の状況			
	これまでの 支援内容	生育歴		
		療育歴		
		教育歴		
	相談歴			
	諸検査			
	その他			